



学校だより
【3月25日号】

学校の様子⑳ 温かい学び舎

3月に入り、6年生を送る会、卒業プロジェクト ドッジボール教職員VS6年生、卒業式と1年間のまとめやお別れの会が目白押しでした。いつも感じるのは、温かい学校だなあと感じます。子ども同士、教職員と子どもたち、教職員同士 常に相手を思いやる心が言葉や形となって相手に伝わっているから互いが温かい心持ちになるのだと思います。



1階くすの葉ホールや階段には、上や左のような6年生へのメッセージ

が掲載されています。卒業の日、黒板は下のような担任の先生からのメッセージが各教室にそれぞれの思いを込めて書かれていました。



ホールにはたくさんのくすの葉が茂り、校長室には、教職員が互いのがんばりやすくてきなところを認め合ったくすの葉があります。この互いを認め合うことは、総社小学校の大きな柱となっています。教職員全員が子どもを認めるということを大切に考えているので、たくさんの子どものがんばりや優しさが足跡として教室や廊下に残っています。



方法はいろいろですが、子どもたちをしっかり認めて育てるという点は同じです。この土壌ができてることが温かい学び舎に繋がっていると思います。そして、保護者の方や地域の方々が総社小学校を温かく見守ってくださっていることが大きな支えとなっています。ありがとうございます。



教職員くすの葉
今後も子どもたち、保護者の皆様、地域の方々、教職員 オールそうじゃみんなで力を合わせてONE TEAM となつてだれもが集いたくなる学校をめざしていきたいと思つています。一年間いつも温かく見守っていただきありがとうございました。

